

賈島拳に赴きて京に至り

驢に騎りて詩を賦し、

「僧は推す月下の門」の句を得たり。

推を改めて敲と作さんと欲す。

手を引きて推敲の勢を作すも、未だ決せず。

覚えず大尹韓愈に衝たる。

乃ち具に言ふ。

愈曰はく、

「敲の字佳し」と。

遂に轡を並べて詩を論ずること之を久しくす。

賈島は、科挙の（試験を受ける）ために都・長安にやってきて、

ロバに乗りながら詩を作っていると、

「僧は推す月下の門」という句ができました。

（しかしこの）「推す」を改めて「敲（たたく）」という文字にしたいと思いました。

（そこで）手動かして推すと敲くの仕草をしてみたもののまだ決まりません。

（そうしているうちに）思わず大尹（都の長官）の韓愈（の列）に突っ込んでしまいました。

（賈島は）そこで、（列に突っ込んでしまった理由を）詳しく説明しました。

韓愈が言うことには、

「敲という文字が良い。」と。

そのまま（二人は）乗り物を並べ（進みながら）詩についてしばらく論じていました。

ということで推敲をしよう。

推敲項目

① 誤字脱字はないか

漢字の間違いや、抜け字などの字の間違いはありませんか。

② 自分が体験したこと、自分の身の回りで起きたこと、家族、友達の話、などの体験が元になっているか。

③ 共感されやすい内容か。

④ 会話文を取り入れているか。

⑤ 読者の興味を惹くような書き出しをしているか。

良い書き出しが思い浮かばない場合には以下参考にする。（小説であるが…）

<https://kodomo-manabi-labo.net/takuro-yamaguchi-sakubun-09>

⑥ 印象的な書き終わりをしているか。（オチ、共感を得る、問題を投げかける、など）

以下参考にする。（ネットで検索してみるといい例がいっぱい出てくる…【文章 良い書き終わり】など）

<http://文章の鬼.com/2019/12/20/post-4064/>

⑦ 自分で読んでいて良いと思いますか。

全部ができている必要はありませんがあると良いものになる傾向があります。

チェック欄（○・×）

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦

チェック欄に×のものは右の貼り付けたものに色ペンで修正を入れていこう。

自分が書いたエッセイをコピペもしくはスクショで貼り付けしよう。

左の推敲項目に沿って色ペンでチェックをつけていこう。